

基本となる考え方

- 一人ひとりの子どもを、個人としての尊厳を重んじ、その意見を尊重するとともに、自由と規範意識、権利と義務を重んじ、自己の判断と責任で道を切り拓き、真理と正義を求め、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備え、グローバル化が進む国際社会において力強く生き抜くことができる人間としてはぐくむこと
- 子どもたちが、我が国と郷土の伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた国と、自らが育ったこの大阪を愛し、大阪にふさわしい新しい文化の創造をめざすようになること
- 教育行政においては、上記の教育が行われるよう、学校教育の円滑かつ継続的な実施のための支援、教員の能力・適性等の向上を図るための研修、家庭の教育力の向上の支援、青少年・成人に対する教育活動の振興に関する施策の推進に努めること

3) マネジメント改革

- 校長がその権限と責任により自律的な学校運営を行い、子どもや保護者の意向に応え、学校や地域の実情に応じた特色ある教育実践を創造し、学校の活性化を図ります。

- ・校長がリーダーシップを発揮して活気のある学校づくりを進めます
- ・管理職を中心とした学校の組織マネジメント体制の改革を進めます
- ・教員人事制度等を見直します
- ・教員が互いに切磋琢磨し、優れた教育実践を創る仕組みをつくります



4) ガバナンス改革

- 保護者・地域住民をはじめとする市民に説明責任を果たすとともに、市民の参加を得られるよう、情報の積極的な提供、学校協議会の設置など開かれた学校運営を行います。

- ・保護者・地域住民に開かれた学校をつくります
- ・民間や広域行政との適正な役割分担を進めます

5) 学校サポート改革

- 専門家の支援や業務の効率化などにより、教職員がその持てる能力を教育実践で十分に発揮できるよう支援します。

- ・いじめ・問題行動に毅然とした対応をとるための制度をつくります
- ・体罰・暴力行為を生まない学校づくりや、運動部活動の適切な指導方法の確立を図ります
- ・学校運営における課題の解決を支援します
- ・学校教育以外でも多様な学習機会を利用できるよう支援します



カリキュラム改革

幼児期から義務教育修了までに、基本的な道德心・規範意識を培います

社会で生きるうえで身に付けておかねばならない普遍的な事柄について明確化して繰り返し指導します。

新たな幼児教育カリキュラムを編成・実施します

幼稚園と保育所の合同で、規範意識と知・徳・体をバランスよくはぐくむことを重視した幼児教育カリキュラムを研究・開発します。

ICTを活用して協働学習や個別学習などの充実をめざす 「大阪市スタンダードモデル」を策定します

モデル校において、タブレットPC、電子黒板、デジタル教科書など、最先端のICT学習環境を整備し、ICTを活用した授業づくりの実証研究を行います。その成果をふまえ、「大阪市スタンダードモデル」を策定し、27年度には全市展開します。

児童生徒が最先端のICT環境の中で学習します



カリキュラムのイノベーションにつながる研究を進めます

・習熟度別授業の実施

小学校3～6年、中学校1～3年で、習熟の程度に応じた少人数授業を実施し、「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」を実感できる学習を通して、学力向上を図ります。あわせて、中学校のモデル校では、国語・数学・英語・理科で年間を通じた習熟度別授業を実施し、効果を検証します。



＜数学の授業風景＞
習熟度別少人数授業等により、ていねいに一人ひとりの学力を伸ばす指導を進めます

・言語力や論理的思考能力の育成

言語力等の育成を図るためのモデル校を設置し、効果の検証を行います。

・小学校1年生から6年間を見通した理科教育の充実

系統的な生活科・理科の教育内容を検討しモデルカリキュラムを策定します。

・小中一貫した教育の推進

施設・一体型小中一貫校では、小学校高学年における教科担任制の導入を含め、特色ある教育を実施します。また、実践事例を紹介するなど、取組の成果を他校にも情報発信します。

・教育活動のための時間の確保

授業時間を確保するとともに開かれた教育活動を進めるため、夏休み・冬休みを短縮するとともに、土曜授業を実施します。



平成24年度、大阪市初の施設・一体型小中一貫校「やたな小中一貫校」(愛称)を開校しました

通知表改革：学びの評価を客観的なものにします

知識・理解や思考・判断等に関する評定と関心・意欲・態度の評価を区分して通知表の標準例を作成します。なお、知識・理解や技能・能力の到達度の評定については、到達度テストなど客観的データを活用します。

健全な食生活の確立に向けて食育を進めます

中学生の望ましい食生活・食習慣の形成に向け、弁当箱によるデリバリー方式の中学校給食を段階的に実施します。



＜中学校給食 教室での食事の様子＞
平成25年9月から市内全中学校(128校)で実施する予定です